

名古屋葵大 生協と協定

地域活性化など 商品開発や授業で連携

名古屋葵大(名古屋市瑞穂区)健康栄養学科と生活協同組合コープあいち(名古屋市長久保区)は25日、地域活性化や人材育成などに関する産学連携協定を結んだ。

両者は2023年から宅配用のミールキットを共同開発。学生のアイディアを基に「ホルモン焼きそば」など3品を商品化しており、この関係をさらに発展させようと、連携協定を締結した。今年度も両者で新たなミールキットを開発中のほか、学生が生協の商品開発現場を見学する学外授業などが予定されている。

いちの川端宏二専務理事は「学生の知恵をもらいながら、今後も連携して良かったと思える関係作りを進めたい」と話した。コープあいちと県内大学との連携協定はこれで4校目となる。



協同組合コープあいちと名古屋葵大との産学連携に関する協定締結式
連携協定を結んだ名古屋葵大の久保学長(左)とコープあいちの川端専務理事(名古屋市長久保区)で。

縮結式で、同大の久保金弥学長は「社会が何を求めているかを理解することとは学生にとって非常に有意義」と述べ、コープあ